

平成30年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 平成30年 4月17日(火)

2 調査対象 第3学年生徒 72名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語A、国語B 数学A、数学B, 理科)

Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用(知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力)」に関する問題です。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語A(主として知識に関する問題)は、おおむね全国平均であります。国語B(主として活用に関する問題)は、全国平均を下回りました。主に「話すこと・聞くこと」の領域に課題が見られたので、重点的に力を入れていきます。

数学A(主として知識に関する問題)、数学B(主として活用に関する問題)ともに、全国平均を下回りました。主に「関数」の領域に課題が見られたので、重点的に力を入れていきます。

理科は、全国平均を下回りました。主に「物理的領域」に課題が見られました。

(2) 生徒質問紙調査

成果が見られた項目

○朝食を食べていますか。

○放課後に何をして過ごしますか。(学校の部活動に参加している。家で勉強や読書をしている)

○家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話しますか。

課題が見られた項目

●将来の夢や希望を持っていますか。

●家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

●学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では自分の意見を書いたり、考えを根拠を明らかにして説明するなどの問題について、課題が見られました。そこで本校では今後、次の点について重点的に取り組んでいきます。

- ・授業の中で、相手の反応をふまえながら話す場面を設定するなど、授業の中で話し合い活動を積極的に取り入れる。
- ・生徒が互いの考えを説明し合う機会を設け、他者の意見を聞き、自分の意見と比較・検討する活動を行うことで生徒が相互に啓発しあう授業づくりに努める。
- ・授業の中で、グラフなどの資料から読み取った内容を活用できる場면을授業の中に計画的に設定する。
- ・実験・実習などの体験活動を多く設定するとともに、考察の過程や場面を大切にして授業を行う。

6 保護者・地域の皆様へ

生徒の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

○家庭学習について

・ゲームやテレビ、スマホなどの利用についてルールを決めるとともに、子どもが落ち着いて学習できる場と時間を確保してください。

・計画的な家庭学習、宿題や授業の復習を行うことを習慣づけさせてください。

・将来の夢や希望が持てるように、和やかな家庭の雰囲気を作り、会話の時間を大切にしてください。

○地域行事等への参加

・地域行事への参加などから地域や郷土のよさや人々のつながりの大切さを学ぶ機会を設けてください。